



## 令和3年10月19日(火)例会(第2822回)報告(暁)No.2650

出席率 ..... 30/39 76.92% 第2820回補正出席率 ..... 36/39 92.31% コロナ対策例会

**欠席者** 酒井(博)、屬、友森、中村、西富、浜田(一)、  
浜田(貴)、堀田、村山

**メーカーアップ(G会長幹事会)** 5名 (未来委) 9名  
(地区大会全登) 41名

**出席免除** 足立、増谷、渡辺(昇)

**◆会長時間** 中田耕治 会長

昨晩は十三夜でした。中国伝来の十五夜は月の神様に豊作を願うのに対し、日本で始まった十三夜は秋の収穫に感謝する風習だそうです。どちらも美しい月を愛でるのですが、一方しか見ないことを「片見月」、両方合わせて「二夜の月」と呼ぶそうです。

先々週、母に頼まれて玄関に生けるススキを探し歩きました。今まで漠然とイメージで捉えていたので、改めてススキとアシの違いを調べてみました。穂がフワッと開いて株で生えるのが「ススキ」。穂が開くと線香花火の様になり群生するのが「アシ」。更に「オギ」と言うのもあり、穂の先に「ノギ」と言う細い毛があるのが「ススキ」、無いのが「オギ」です。結局私には、遠目にフワッが「ススキ」、サラッが「オギ」、線香花火が「アシ」と言う認識になり、今年の秋の収穫となりました。皆さんも、もう一度よく見てみてください。

**◆幹事報告** 山崎慎也 幹事

◎岩崎G事務所より「地区大会について各種連絡」「ロータリー奉仕デー報告」「日経新聞10/22朝刊全国版への一面広告掲載予告」「ロータリー日本100年史頒布促進願い」「第3地域R財団チームニュース第3号」 ◎友末GE事務所より「次期R財団委員長研修会・地区補助金セミナー案内」 ◎津山RCより「友末GE・松本PG壮行会案内」 ◎境港市より非接触型検温器の寄贈に対し「感謝状贈呈のご案内」 ◎菊池直前Gよりご著書「大切にしたいもの」 ◎岡山西RCより「創立60周年記念誌」が届く ◎次週(10/26)は休会(定款7条)

**出席表彰**

連続6年 濑戸良三



〃17年 黒田 耕 各会員

瀬戸会員 黒田会員

**◆委員会報告**

◎「ロータリーの友10月号」紹介…岡田 端 雑誌・広報委員

**◆11月行事予定(ロータリー財団月間/世界インターラクト週間)**

11/2(火) 例会/定例理事会

15(月) パスト会長会(18:30~ 峰)

**—スマイルBOX—**

◎出席表彰 黒田、瀬戸 ◎誕生日 小板 ◎卓話をします 酒井(英)、定秀、庄司、赫、中木、鷺澤、渡邊(冬) ◎面白くしゃべってください 内田 ◎早退します 木村 ◎スマイルに協力 松本(勝)

17(水) 第2回未来委員会(18時~ 事務局)

23(火) 休会(勤労感謝の日)

30(火) 休会(定款7条)

**◆例会変更(受付=ビジター受付、定刻:ANAクラウン米子)**

☆米子中央RC	11/4(木) 休会	ビジター受付無
	11/25(木) 休会	ビジター受付無

☆米子RC	11/5(金) 移動例会	ビジター受付あり
	11/12(金) ガバナー公式訪問	ビジター受付無
	11/26(金) 休会	ビジター受付無

☆米子東RC	11/10(水) 休会	ビジター受付無
	12/8(木) クリスマス家族会	ビジター受付あり

☆米子南RC	11/22(月) 休会	ビジター受付無
	11/29(月) 夜間例会	ビジター受付あり

**—プログラム—「関の五本松」**

北國恵久 会員

“ハア 関の五本松 一本切りや四本 あとは切られぬ夫婦松 ショコショコホイの松ホイ” 民謡「関の五本松節」の一節です。この「ショコショコホイの松ホイ」に五本松の存在意義が秘められています。松は切ってはならぬショコ(焼香場)の松なのです。幾千年の間に、数えきれない程の海で遭難した人々を慰靈する「靈祭り」の場所が五本松であり、かつては松の下にお地蔵さんが立っていて、香華の絶えない鎮魂の場でした。



日本は本来、遠くはインドネシア、マレーシア、フィリピン、台湾の人達と同じ海洋民族の国です。中国や朝鮮半島、モンゴル、ロシアなどは大陸民族の国です。海洋民族の人達は「海の向こうから福が来る」という文化で、その福の神を「エビス」と言います。逆に中華思想では「エビス」と言えば「夷」になり夷敵です。中国の仙人は山に住んでいます。

海洋民族である日本は、海の向こうから福を迎え、海で命を落とした人々を慰靈するという文化です。そして、美保の御崎は、福の神を事代主神の恵美寿として祀り、五本松のお山で慰靈をする、目に見えない存在と交信し、畏敬の念を表す日本の聖地なのです。

昭和2年8月に起こった美保関事件、海軍の演習時の事故で沈んだ「ワラビ」と「アシ」の慰靈碑が、事故の現場(赤崎沖、北に40キロ地点)から遠く離れた美保関の五本松に建てられたのも、ここが悠久の昔から、海の遭難者の慰靈の山だったからです。

昭和2年8月に起こった美保関事件、海軍の演習時の事故で沈んだ「ワラビ」と「アシ」の慰靈碑が、事故の現場(赤崎沖、北に40キロ地点)から遠く離れた美保関の五本松に建てられたのも、ここが悠久の昔から、海の遭難者の慰靈の山だったからです。

**今回(11月2日)プログラム**

「地区大会報告」

三輪昌輝 副会長、小林 哲 ガバナー補佐

**次回(11月9日)プログラム**

「山陰合同銀行と野村証券の包括業務提携について」

(株)山陰合銀 アセットコンサルティング部長 木村真教 氏